

第 3 期仙台市地域保健福祉計画の策定について

1 計画策定の趣旨

近年、少子高齢化が急速に進展する中で、住民の地域社会への帰属意識の低下が、人と人とのつながりを一層希薄化させ、地域社会の脆弱化が進んでいる状況がある。

一方、本市では、東日本大震災において、市内各地域で培われてきた絆や自助・共助といった「市民力」が確認されるとともに、市民活動団体や企業、大学など、地域の多様な主体が持つ専門性や特性を活かした取り組みが、復興の大きな原動力となったことが確認されている。こうした「市民力」や「地域力」を、より一層高め、地域に根付かせていくことを目的として、平成 24 年 10 月に「支え合いのまち推進プランー第 2 期地域保健福祉計画ー」を策定した。

この計画では、支援者の養成研修や自主グループの立ち上げ支援のほか、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を中心とした復興公営住宅建設地域でのネットワークづくりなどに取り組み、地域における支え合い・助け合いのまちづくりに向けた土台づくりを進めてきたところである。

しかしながら、この間の高齢化のさらなる進行や、生活困窮など複合的な課題を抱える世帯の増加など、地域における課題が益々複雑化するとともに、介護保険制度の改正を始めとする社会情勢の変化も相まって、一層地域住民主体の共助の取り組みや公的機関を含めたネットワークの充実が求められている。

このような課題を踏まえ、地域における活動の担い手やコーディネーターといった人材の育成を行いながら、地域課題を解決する重層的なネットワークを形成するなど、地域において支え合い・助け合う力（地域の福祉力）を高めていく取り組みをさらに充実させていくため、第 3 期計画を策定するものである。

2 計画の期間

仙台市基本計画及び各保健福祉計画との整合を図ることから、平成 28 年度～平成 32 年度までの 5 年間の期間とする。

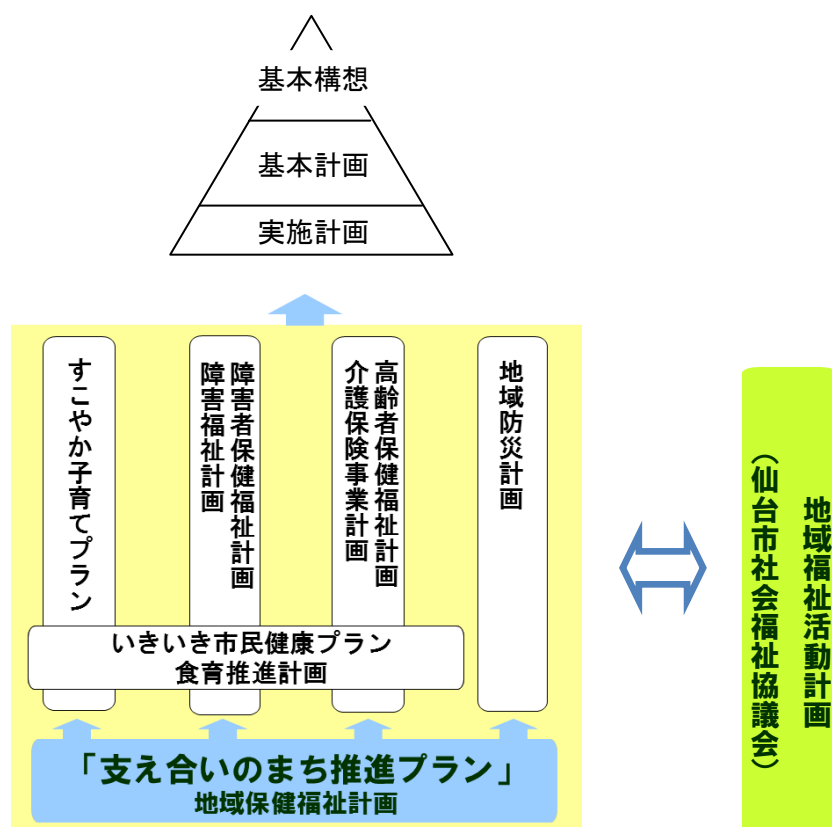
3 計画の位置づけ

(1) 法的な位置づけ

本計画は、社会福祉法第 107 条に基づく「市町村地域福祉計画」として策定する。

(2) 本市の各計画との関係

本計画は、「仙台市総合計画（基本構想・基本計画・実施計画）」を上位計画とし、対象別の保健福祉計画である「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」「障害者保健福祉計画・障害福祉計画」「すこやか子育てプラン」や「地域防災計画」といった各分野別計画が、地域においてより効果的に展開されることを支える役割を果たすとともに、健康づくりの基本計画である「いきいき市民健康プラン」や「食育推進計画」にも共通する地域保健福祉推進の理念を相互につなぐ役割を果たすこととする。



(3) 地域福祉活動計画との関係

仙台市社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」は、市民や様々な地域の福祉関係団体・機関等が連携・協働しながら地域福祉活動を進めるための民間の活動計画で、平成24年度に、平成27年度までの4年間を計画期間とする「第3次地域福祉活動計画（せんだい ai プラン）」を策定している。

本市の地域保健福祉計画と同様、平成27年度末を以って計画期間が終了することから、平成28年度からの新しい計画（第4次）を策定する予定である。本計画と「地域福祉活動計画」は、ともに地域における保健福祉を推進していく計画として、役割分担を行いながら相互に連携を図っていくものであり、計画策定のプロセスを共有し、一体的に策定していくものとする。

4 計画の基本的な構成

- (1) 計画の策定趣旨と位置付け
- (2) 地域保健福祉に関する現状と課題
- (3) 計画の基本的な考え方
- (4) 計画の目標と取り組みの基本的方向
- (5) 施策の展開
- (6) 計画の推進体制

5 検討方法について

(1) 仙台市社会福祉審議会地域福祉専門分科会

仙台市地域保健福祉計画の検討組織として、平成27年3月の条例改正により仙台市社会福祉審議会に「地域福祉専門分科会」を設置した。

① 分科会の構成

委員14名により構成

福祉関係団体（地域福祉，高齢者福祉，障害者福祉，児童福祉），保健医療関係団体，NPO・ボランティア団体，町内会，学校，企業関係，社会福祉関係学識者

② 分科会の開催回数

全5回を予定

(2) 計画策定過程における市民参加について

地域保健福祉の推進にあたっては、市民が自らの地域に関心を持ち、地域の生活上の課題を明らかにしながら互いに支えあうような関係づくりを進めることが重要である。このことから、計画策定にあたっては、第1期及び第2期計画に引き続き、地域保健福祉推進についての市民の関心を高め、課題の発見や解決策を探る過程を共有しながら策定作業を進める必要がある。

計画策定過程における市民参加として、第3期計画では、以下についての実施を予定している。

① ワークショップ

これまで地域社会において展開されているネットワークや活動の場に参画しながら、本市を取り巻く地域の現状や課題、活動者による取り組みの工夫等について把握し、第3期計画へ反映させることを目的にワークショップを実施する。

② 地域保健福祉に関する市民フォーラム

地域の保健福祉に関心のある市民対象とし、地域保健福祉の推進に関する講演、パネルディスカッションに加え、ワークショップの実施結果を踏まえた中

間案の報告も行い、望ましい地域保健福祉のあり方について参加者とともに考えるフォーラムを実施する。

③ 中間案におけるパブリックコメントの実施

計画中間案について、市民から意見を得るため、パブリックコメントを実施する。

6 策定スケジュール

開催時期（予定）	委員会・市民参加	内 容
平成27年 5月19日（火）	第1回地域福祉 専門分科会	○会長・副会長の選出 ○諮問 ○会議の運営について ○第3期地域保健福祉計画の策定について ○市民意向調査結果について ○地域保健福祉をめぐる現状と課題及び主要論点（案）について ○ワークショップ開催（案）について
平成27年 6月～8月	《ワークショップの実施》	
平成27年 7月下旬	第2回地域福祉 専門分科会	○ワークショップ実施状況について ○計画骨子案について
平成27年 9月上旬	第3回地域福祉 専門分科会	○ワークショップ実施結果について ○計画素案について
平成27年11月	第4回地域福祉 専門分科会	○計画中間案について ○市民フォーラム（地域福祉セミナー）の開催について ○パブリックコメントの実施について
平成27年11月	《市民フォーラム（地域福祉セミナー）の開催》	
平成27年12月	《計画中間案に対するパブリックコメントの実施》	
平成28年2月	第5回地域福祉 専門分科会	○市民フォーラム（地域福祉セミナー）結果報告 ○パブリックコメント結果報告 ○最終案・答申案の決定について

《参考》現計画策定以後の主な経過

時 期	内 容
平成 2 4 年 1 0 月	第 2 期仙台市地域保健福祉計画（以下「第 2 期計画」という。）を策定
平成 2 5 月 3 月	仙台市地域保健福祉計画推進委員会（以下「推進委員会」という。）を設置
平成 2 5 年 1 1 月	推進委員会による第 2 期計画の評価（平成 24 年度事業実施分）を実施
平成 2 6 年 1 0 月	推進委員会による第 2 期計画の評価（平成 25 年度事業実施分）を実施
平成 2 6 年 1 2 月	第 3 期仙台市地域保健福祉計画策定のための「地域における保健福祉のあり方について」市民意向調査を実施
平成 2 7 年 3 月	平成 27 年第 1 回定例会において「仙台市社会福祉審議会条例の一部を改正する条例」（第 48 号議案）が議決
平成 2 7 年 4 月	仙台市社会福祉審議会に、個別分野を越えて社会福祉を総合的に推進する「地域福祉専門分科会」を設置